

車の速度と自己過信(四輪車)



見通しがよく、すいている道路だと、運転経験の少ない初心運転者でも、ついスピードを出したくなりがち。だけど、スピードの出し過ぎによる事故がどんなものかを思い出し、スピードを出したい気持ちをコントロールするように!

まとめクイズ

Yes、Noのどちらかを選んでください

Q1. 交通量も少なく、見通しの良い広い道路では、決められている最高速度より多少オーバーしても違反にはならない。

Yes No

Q2. 20km/hで走っていた車同士が正面衝突した場合の衝撃であれば、車に乗っている人は自分の体を瞬間的に手足で支えられる。

Yes No

Q3. 免許取得してまもない若者は、自分の運転能力を実際以上に過信し、無理な運転をしがちである。

Yes No

Q4. 免許取得後1年以内は初心者として、事故を起こしても罰せられない。

Yes No



→解答は次ページに!



まとめクイズの解答と解説

Q1. No

その道路区間ごとに最高速度が定められています。最高速度をわずかでも超過すると、違反になります。

Q2. No

衝突したとき、人間が瞬間的に支えられるのは、7km/hくらいです。7km/hとは自転車で走る速度にあたります。

Q3. Yes

例外もありますが、若者には、高速走行を「快感」だと感じ、それに伴うリスクにあまり目を向けない傾向があるといわれています。運転経験を積み重ね、ヒヤリハット体験から学んでいくことで、こうした傾向を克服していきます。

Q4. No

免許を取得したその日から、初心運転者、ベテランドライバーの別なく、違反すれば罰せられます。運転免許取得後1年未満の初心運転者が一定以上の違反をしたり、事故を起こすと、より厳しい処罰が課せられます。



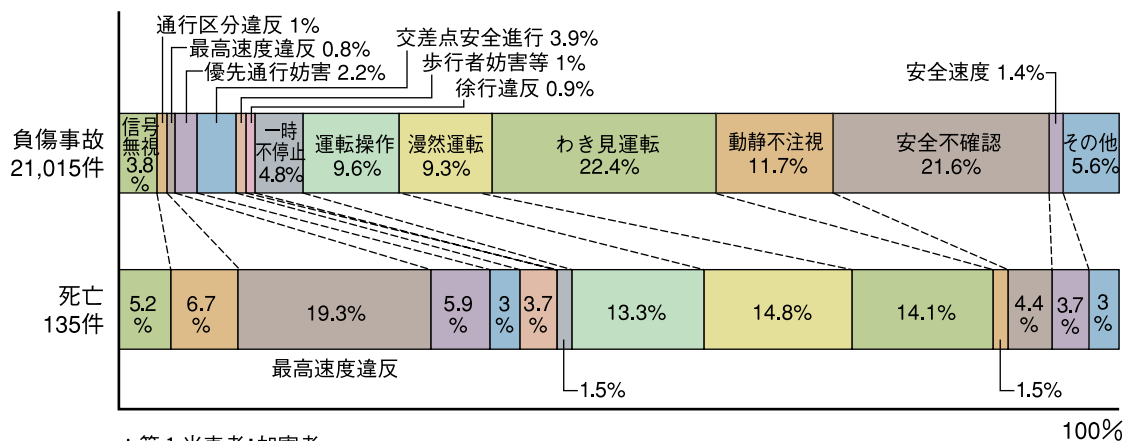
スピードが高くなるほど、リスクも高くなることを忘れないで。

コラム 1

死亡事故の原因のトップは最高速度違反

負傷事故ではわき見運転、安全不確認など「不注意」による違反が中心ですが、死亡事故の原因のトップは、「最高速度違反」によるもので19.3%をしめています。

グラフ1 四輪車運転中の18～19歳の法令違反(1当)



* 第1 当事者: 加害者

●若者に多い、オーバースピードによる事故

自己過信が招く恐ろしい事故をなくすために。

死亡事故の原因のトップは最高速度違反

若者の死亡事故の特徴は、「最高速度違反」によるものが多い、ということがわかっています(コラム1)。

ある意識調査によると(グラフ2)、若者は「広い道路では思い切り速度を出してみたい」「スピードを出せば出すほど快感を感じる」と思っている人が半数を超えています。そして、道路条件などから見て、コントロール不可能と思えるスピードで走行し、事故を起こしているのです。

スピードのリスクについて改めて考えよう

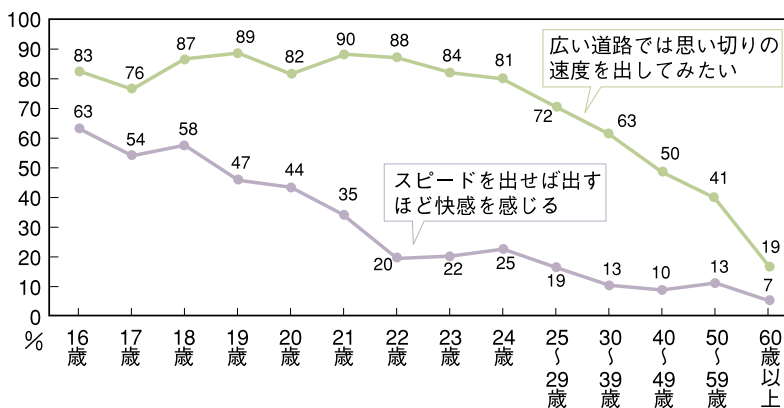
免許取得後まもない若者に多いオーバースピードでの事故には、

- ・高速でも車をコントロールできるという自己過信がある
- ・道路交通法などルールを守らなくていい、という挑戦的な気持ちがある
- ・高速走行の経験がまだ少ない
- ・速度を出しすぎた結果、何が起こりうるかについて正しい知識がない

という共通点があります。天気の良い日にすいた道路で、スピードを出すのは気持ちのいい行為かもしれませんが、その分確実に「リスク」も高くなるのだ、ということをおぼえておきましょう。

また、「約束の時間に遅れそう」などにも、スピードを出してしまいがちです。常に時間に余裕を持って車を運転するようにしましょう。

グラフ2 年齢層別速度に対する意識



(財)日本交通安全教育普及協会発行
「人と車」2002年9月号
運転者教育講座
長山泰久大阪大学名誉教授

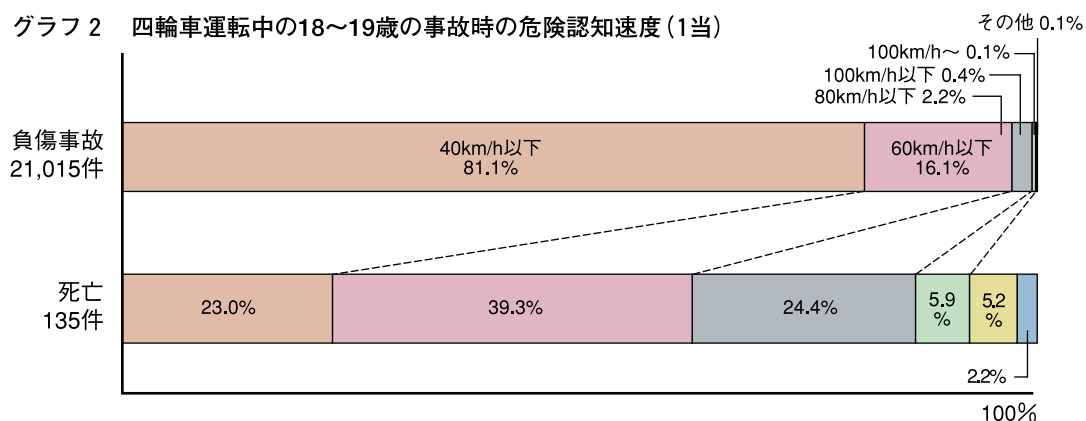
コラム 2

スピードと事故の関係

危険認知速度とは、事故直前の車両の速度のことです。

負傷事故では40km/h以下が約81%を占めるのに対し、死亡事故では40km/hを超えるケースが約75%あります。死亡事故は高いスピードで起きていることがわかります。

グラフ2 四輪車運転中の18～19歳の事故時の危険認知速度(1当)



(財)交通事故総合分析センター 平成20年



新聞や本などの資料、インターネットなどを使って、調べて考えてみましょう

• あなたがよく使う道での四輪車の制限速度を調べてみましょう。



• 自分は人より上手に運転できるに違いない、と思っていますか？ 思っている場合はなぜそう思うのですか？ また、思わない場合はなぜそう思わないのですか？



• あなたが車の運転をしているとして、自分は次のどちらのタイプだと思いますか？



- 1: 前に遅い車がいたら、どんどん追い抜いていく
2: 遅い車がいたら、理由があって遅いのだと考え、
追い越さないでしばらく様子を見る



MESSAGE

法定速度を守れば起きなかった事故

恒成茂行 熊本大学医学部教授

私は法医学者として、殺人や交通事故など不幸な死にあった方々のご遺体の解剖をしてきました。その中で、どうしてこういうことで大事な命を落としてしまうのだろうと、憤りを感じるような若者の交通事故死に何件も関わりました。

若者の死亡事故の最大の原因はスピードです。それも並ではないスピードです。原付を運転中、カーブを曲がりきれずに道路脇のブロック塀に激突して亡くなった16歳の男子高校生の場合は約80km/hでした。正面からはわからないのですが、頭の骨が折れ、後頭部が平らになっていました。バイクがカーブを曲がる時に遠心力が働きますが、スピードが速すぎると、遠心力に耐えられなくなり、放り出されます。それで、男子高校生は壁に激突したのです。

交通事故で死にたくない、と思うなら簡単なことです。道路交通法で定められたスピードを厳格に守ればよいのです。